

# 建機用フィルタ市場は堅調 ガイダンスに変更なし！

ヤマシンフィルタ株式会社

2023年3月期第1四半期

決算説明資料

2022年8月3日

## 事業環境

### 建機用フィルタ事業

市場

日本

北米

欧州

アジア

中国

**建機の稼働時間と新車需要は堅調**

低調

物流コスト・原材料価格

為替

**高騰**

**円安が進行**

### エアフィルタ事業

⇒オフィスビル等の交換需要は回復傾向

アフターコロナ、気候変動といった環境課題のもと

**当社のビジネス拡大機会が到来**

## 2023年3月期の取り組み

### 建機用フィルタ事業

- ◆ 新素材ナノファイバーやIoT技術を活かした高付加価値フィルタ製品ラインナップの拡充進展
- ◆ 北米・中国市場のシェア拡大
- ◆ 顧客への価格転嫁推進
- ◆ バリューチェーンの強化・サプライチェーンの再編

### エアフィルタ事業

- ◆ ナノファイバー製エアフィルタ供給・シェア拡大進展
- その他事業ポートフォリオ
- ◆ 産業資材としての市場領域拡大、事業ポートフォリオ確立を目指す

2023年3月期  
Q1  
業績動向

連結売上高： **41億69百万円**

連結営業利益： **94百万円**

前期比： **11.0%減収**

前期比： **72.4%減益**

**中国ロックダウン、海上輸送費、原材料費高騰、急激な円安影響により大幅減収減益**

建機用フィルタ	前年同期比 5.8%減収 35億32百万円	建機の稼働時間と新車需要は堅調に推移した一方で、中国市場におけるロックダウンの影響大
エアフィルタ	前年同期比 0.2%減収 6億36百万円	経済活動の回復に伴いビル空調用フィルタ需要は回復傾向にあり、前年並み
* ヘルスケア	当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2023/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含める (前年同期は 2億95百万円)	

## 2023年3月期における事業環境・当社取り組みについて

### 営業力のさらなる強化

- **建機用フィルタ事業：**  
**堅調な事業環境を活かし事業を推進**
  - ◆ 新素材ナノファイバーやIoT技術を活かした高付加価値フィルタ製品の採用拡大
  - ◆ 2022年4月から開始されたYAMASHIN Nano Filter®素材のフィルタ販売を推進
  - ◆ 建機フィルタ技術の他分野への応用
- **エアフィルタ事業：**  
**新製品NanoWHELP®による新規シェア獲得**
- **SDGsへの取り組みと**  
**事業ポートフォリオ拡大を両立**  
YAMASHIN Nano Filter®の  
産業資材としての市場領域の拡大

### 利益改善の取り組み

- **建機用フィルタ事業：**  
**顧客への価格転嫁推進**
  - ◆ 原材料価格及び物流コスト高騰への対策として顧客への価格転嫁を実施
- **バリューチェーンの再編・強化**
  - ◆ 主要原材料の調達安定化
  - ◆ YVC（ベトナム工場）の稼働によるサプライチェーン見直し・物流コスト低減を実施
- **為替変動への対応策**
  - ◆ 急激な為替変動、円安進行への対策として、為替マリーの強化と積極的なデリバティブ取引等の活用による業績影響の軽減を図る
- **エアフィルタ事業：**  
**生産性向上による収益改善を図る**

## 当社の捉える3つの経営課題と「稼ぐ力」の改善

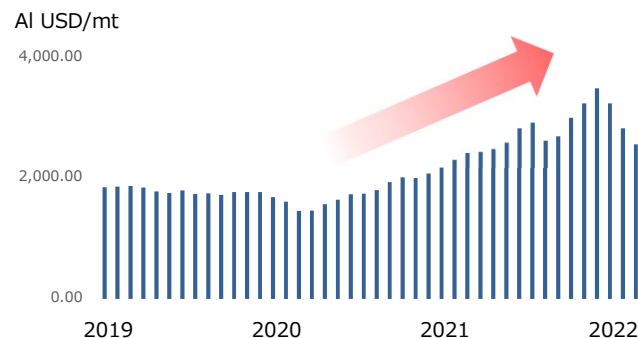
- 材料価格高騰・為替対応・物流コスト高騰が起因して、営業利益を圧迫
- 顧客への価格転嫁及び生産体制、サプライチェーン強化により稼ぐ力を改善

### 材料価格の高騰

現在の状況：

**原材料の6割のアルミや鋼材など資材価格が前年比2倍に高騰**

#### アルミ価格の推移



### 円安の進行

現在の状況：

**急激な円安進行により  
営業利益にネガティブな  
インパクト**

参考データ

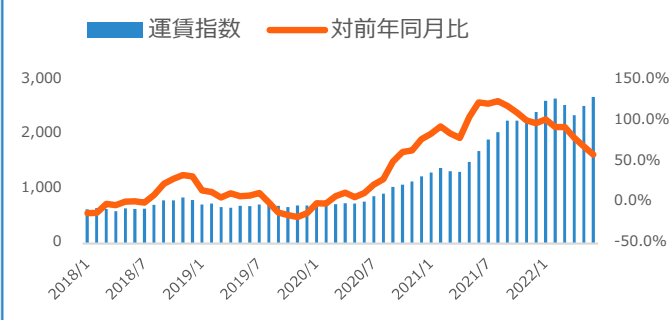
- ◆ 1円円安で約5百万円営業利益減

### 物流コストの高騰

現在の状況：

**海上輸送費は前年比3倍以上  
コンテナ単価は前年比約5倍**

#### 北米往航西岸・月別運賃指数の推移



日本海事センター企画研究部作成資料より引用

### 価格転嫁& 主要原材料の調達安定化

顧客への価格転嫁、  
デリバティブ取引等の実施により  
調達価格の安定化を図る

### 決済通貨の見直し

各取引先との決済通貨の見直しによる  
為替リスク強化、為替予約実施により  
営業利益へのマイナス影響を低減

### 価格転嫁& サプライチェーンの強化

顧客への価格転嫁及び、  
YVC（ベトナム工場）の稼働による  
サプライチェーン見直し・  
物流コスト低減を実施



I

2023年3月期第1四半期実績及び2023年3月期通期見通し

P5

II

市場を取り巻く環境

P25

III

今後の戦略

P35

# 決算

## I 2023年3月期第1四半期実績及び 2023年3月期通期見通し



# 2023年3月期 第1四半期業績 (2022年4月-6月)

		2022/3期	2023/3期	前年同期比	
		Q1 実績	Q1 実績	増減額 (百万円)	増減率
		金額 (百万円)	金額 (百万円)		
売上高		4,685	4,169	△515	△11.0%
	建機用フィルタ※1	3,752	3,532	△219	△5.8%
	エアフィルタ	637	636	0	△0.2%
	ヘルスケア※2	295	–	△295	△100.0%
営業利益 (セグメント利益)		341	94	△247	△72.4%
	建機用フィルタ※1	479	93	△386	△80.6%
	エアフィルタ	△26	0	27	–
	ヘルスケア※2	△111	–	111	–
<b>営業利益率</b>		<b>7.3%</b>	<b>2.3%</b>	<b>△5.0Pt</b>	
経常利益		334	57	△277	△82.8%
<b>経常利益率</b>		<b>7.1%</b>	<b>1.4%</b>	<b>△5.8Pt</b>	
四半期純利益		208	12	△195	△94.1%
<b>四半期純利益率</b>		<b>4.4%</b>	<b>0.3%</b>	<b>△4.1Pt</b>	
為替レート (円) (期中平均値)	USD	109.5	129.6	20.0	18.3%
	EUR	132.0	138.1	6.1	4.7%

※1 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

※2 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2023/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

\* 2022/3期の営業利益については、全社費用として別掲していた本社及び子会社の管理部門の一般管理費等の費用について、各セグメントの営業利益に含めております。



	2022/3期 Q1 実績	2023/3期 Q1 実績	前年同期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ	3,435	3,136	△298	△8.7%
ライン品	1,488	1,299	△189	△12.7%
補給品	1,946	1,837	△108	△5.6%
産業用フィルタ	129	185	55	43.3%
プロセス用フィルタ	188	211	23	12.2%
建機用フィルタ 合計	3,752	3,532	△219	△5.8%
エアフィルタ	637	636	0	△0.2%
ヘルスケア※1	295	—	△295	△100.0%
売上高合計	4,685	4,169	△515	△11.0%

※1 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2023/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

	2022/3期 Q1 実績		2023/3期 Q1 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※1	3,752	80.1%	3,532	84.7%	△219	△5.8%
国内	1,729	36.9%	1,840	44.1%	111	6.4%
北米	686	14.7%	660	15.8%	△26	△3.9%
中国	564	12.1%	268	6.4%	△295	△52.4%
アジア	365	7.8%	334	8.0%	△30	△8.3%
欧州	405	8.6%	426	10.2%	21	5.3%
その他（中東他）	1	0.0%	2	0.0%	0	75.3%
エアフィルタ（国内）	637	13.6%	636	15.3%	0	△0.2%
ヘルスケア※2（国内）	295	6.3%	0	0.0%	△295	△100.0%
売上高合計	4,685	100.0%	4,169	100.0%	△515	△11.0%

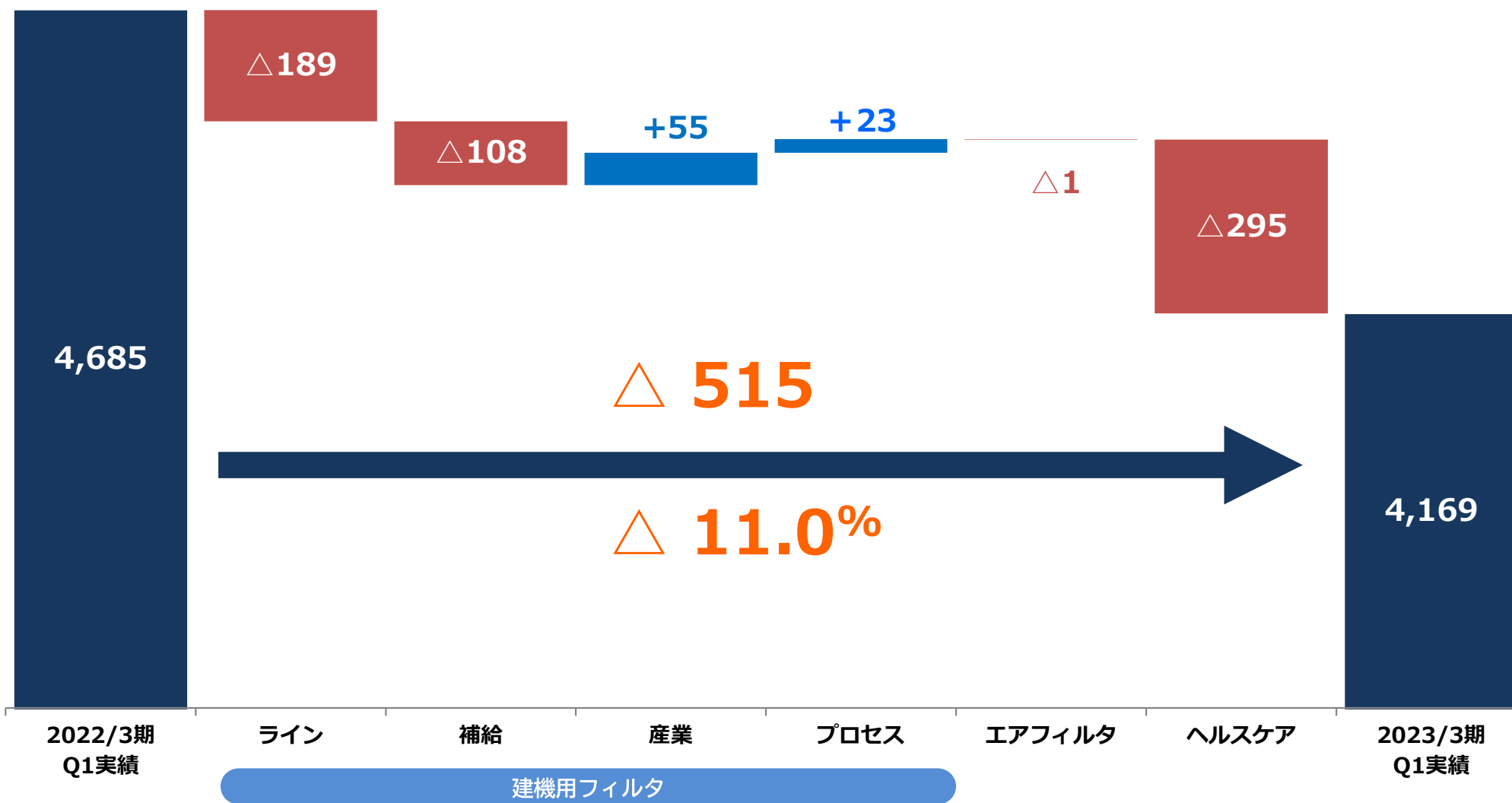
※1 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

※2 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2023/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

\* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

# 売上高の増減要因 (2022/4-6)

(単位 : 百万円)





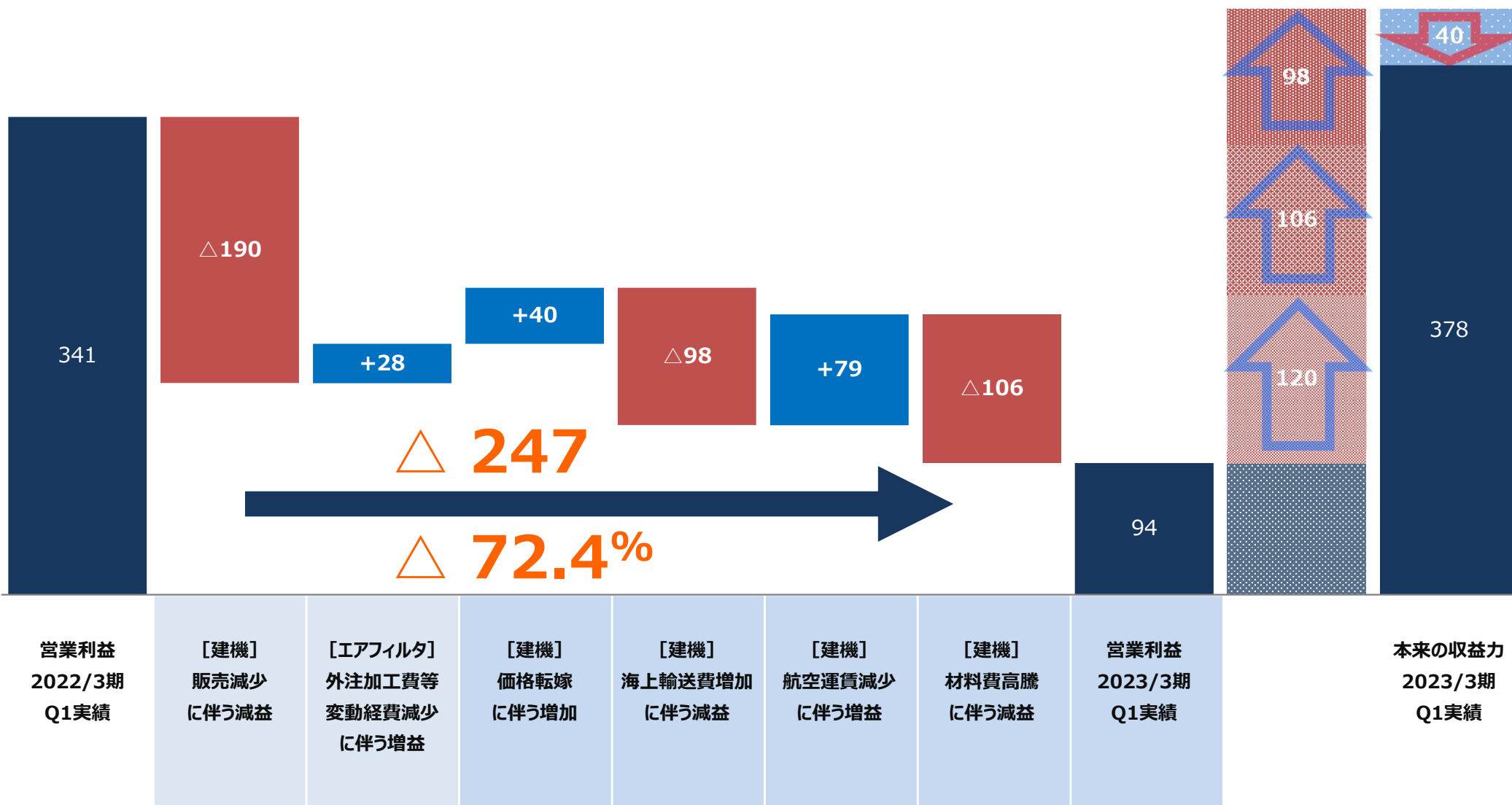
# 営業利益の増減要因 (2022/4-6)

(単位：百万円)

営業利益率  
7.3%

営業利益率  
2.3%

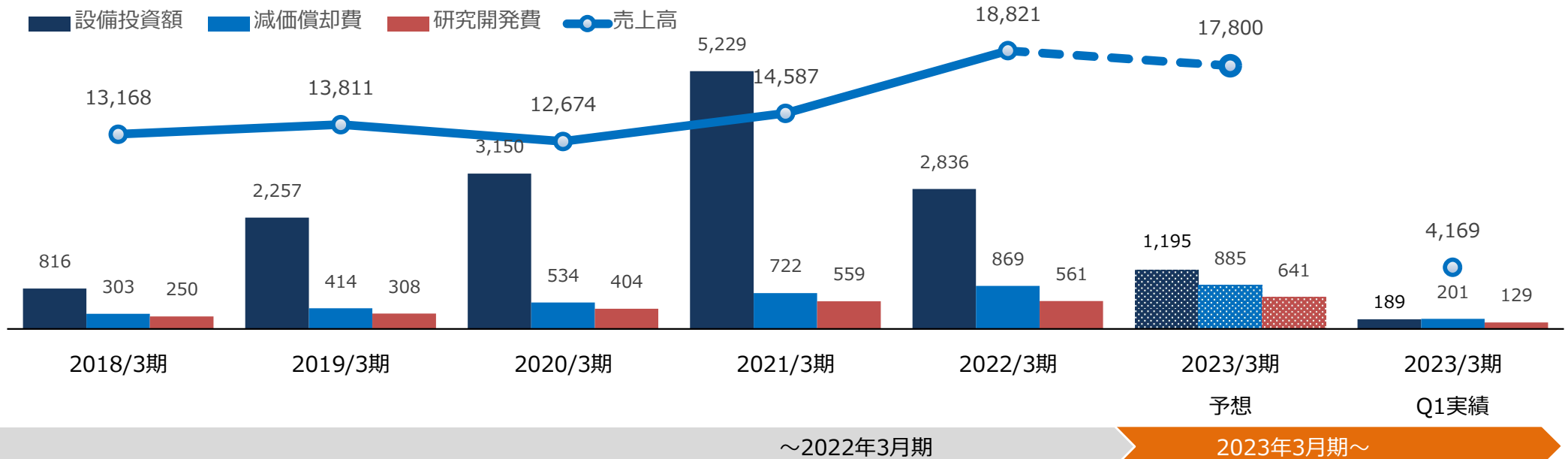
営業利益率  
9.1%



# 設備投資額、減価償却費及び研究開発費推移

単位   百万円	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 見通し	2023年3月期 Q1 実績
売上高	13,168	13,811	12,674	14,587	18,821	17,800	4,169
設備投資額	816	2,257	3,150	5,229	2,836	1,195	189
土地・建物	—	1,588	2,682	3,194	1,488	124	33
その他設備投資	816	669	468	2,036	1,347	1,070	156
<b>売上高比率</b>	<b>6.2%</b>	<b>16.3%</b>	<b>24.9%</b>	<b>35.9%</b>	<b>15.1%</b>	<b>6.7%</b>	<b>4.6%</b>
減価償却費	303	414	534	722	869	885	201
<b>売上高比率</b>	<b>2.3%</b>	<b>3.0%</b>	<b>4.2%</b>	<b>5.0%</b>	<b>4.6%</b>	<b>5.0%</b>	<b>4.8%</b>
研究開発費	250	308	404	559	561	613	129
<b>売上高比率</b>	<b>1.9%</b>	<b>2.2%</b>	<b>3.2%</b>	<b>3.8%</b>	<b>3.0%</b>	<b>3.4%</b>	<b>3.1%</b>

## 売上高及び設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移



生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る

**PAC22**

**P**romptly  
迅速

**A**ctivated  
かつ効果的な

**C**ost reduction  
コスト削減計画

20

**22**

■削減目標・実績金額

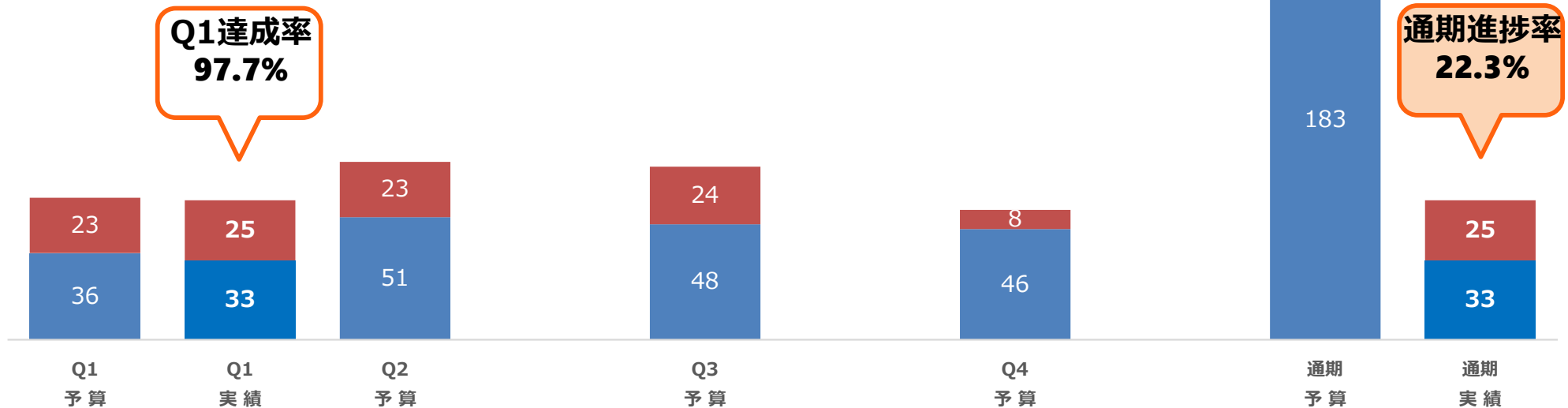
単位：百万円

		Q1 予算	Q1 実績	Q2 予算	Q3 予算	Q4 予算	通期 予算
PAC22	製造原価	36	25	51	48	46	183
	販管費	23	23	23	24	8	80
合計		60	58	75	72	54	263

■進捗状況

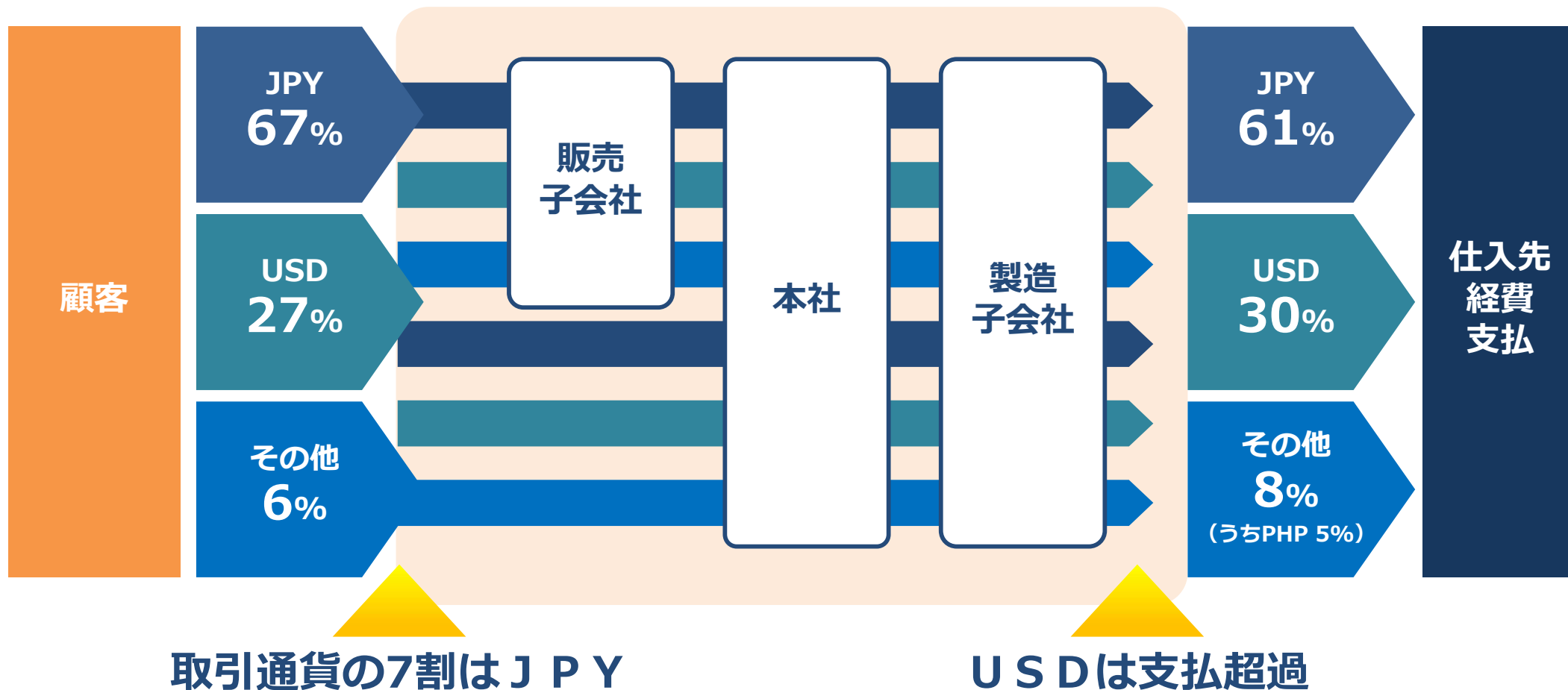
■ 製造原価 ■ 販管費

(単位：百万円)





急激な円安進行により約120百万円の営業利益へのマイナス影響



- 為替が1円円安になった場合の営業利益影響額は約5百万円減益
- 決済通貨見直しによる為替マリー強化、  
為替予約等により営業利益のマイナス影響低減を図る

管理部門にとどまらず、現場にまで  
企業価値向上の目標数値を落とし込む

## MAVY'Sとは (ROIC - WACC)

**M**aximizing  
**A**dded  
**V**alue of  
**Y**amashin Filter  
**S**pread

投下資本の利潤最大化を目指し、  
各責任部署が (KPI) を設定し  
業務に取り組む (KSF) ための  
最重要指標 (KGI)

MAVY's  
スプレッド拡大により  
ステークホルダーの期待に応える

各指標に対して、担当部署を  
割り振り、各KPIを設定して  
目標達成に向けた業務運営を  
全社にて行う

# MAVY'sの全体像と責任部署 (2023/3期)

※KPI算定の前提  
Prv: 2022/3期 通期実績値  
Cur: 2023/3期 見通し

Key Goal Indicator (KGI)	Key Performance Indicator (KPI)	Key Success Factor (CFS)	責任部署	23.3期部門目標 (action plan)	23.3期進捗		
MAVY's Prv: -0.6% Cur: -3.3%	売上高営業利益率 Prv: 7.1% Cur: 3.9%	売上高伸長率 Prv: 29.0% Cur: -5.4%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	・建機:主要顧客シェア拡大(ロングライフ、センサ) ・建機:中国企業への参入拡大・加速 ・エアフィルタ:新製品(NanoWhelp)による販売拡大(直販、国内外) ・新規事業領域への進出	・ハイブリッドフィルタの各社提案進展 ・中国系建機メカ向け新機種採用実績向 ・エアフィルタ新製品販売進展 ・アパレル業界向け供給継続進展(脱ダウン)	
		売上総利益率 Prv: 40.4% Cur: 38.1%	売上原価	購買力強化 歩留り改善	生産・SCM	・PAC22 ・購買力強化、物流コスト低減 ・生産管理の改善	・購買先の評価基準の見直しと集約実施完了 ・共通購買(アクシー)による調達コスト削減 ・計画的な保守・保全実施による歩留まり改善、製造原価削減実行進展
		減価償却費率 Prv: 4.6% Cur: 5.0%	投資計画	経営企画 財務経理	・M&A(収益拡大・経営安定化手段) →M&A先企業の情報収集 →不織布事業体買収(下流) →新素材開発企業買収(上流)	・国内外のM&Aデータの収集並びに潜在可能性あるM&A先とのコミュニケーションの強化(電話会議等)	
		販管費率 Prv: 33.3% Cur: 34.1%	研究開発費率	テーマの絞り込み 優先順位	開発	・新素材の開発(リサイクル、バイオマス等) ・IoTの取り組み ・エアレーション他技術開発	・ナノファイバー製エアフィルタ製品化加速 ・各得意先各種センサー試験品供給 ・産学連携による新素材開発の加速
		人件費率 Prv: 13.7% Cur: 15.3%	最適な人員構成	人事・総務	・タレントマネジメント制度策定・運用	・次世代マネジメント層の発掘 ・製品開発に向けた研究要員の増員 ・事業再編にかかる職業専門家スタッフの採用	
		売上債権回転率 Prv: 4.2 Cur: 4.1	債権管理	営業 財務経理	・債権回収率の改善 ・ペーパレス化推進	・運転資金改善に向けた債権回収の効率化・合理化対応	
		運転資本回転率 Prv: 3.1 Cur: 2.9	棚卸資産回転率	適正在庫の設定	生産 営業	・全社棚卸資産の圧縮	・棚卸資産のパレート分析に基づく適正在庫量の決定ならびに削減計画の実行中
		仕入債務回転率 Prv: 4.8 Cur: 4.7	債務管理	SCM 生産	・ワーキングキャピタル改善 ・ペーパレス化推進	・運転資金の改善に向けた債務支払い回転率の適正化	
		有形固定資産回転率 Prv: 1.7 Cur: 1.5	設備計画 (R&D・生産)	経営企画 総務・生産・開発	・投資回収効果最適化	・投資収益回収期間の妥当性分析による開発及びR&D投資、優先判断の実行	
		無形固定資産回転率 Prv: 66.4 Cur: 78.7	投資計画	経営企画 財務経理	・知財戦略の策定とアクションプランの作成	・戦略の作成と行動計画の立案及び関係者への研修強化 ・中国市場での積極的特許出願	
ROIC Prv: 4.7% Cur: 2.0%	投下資本回転率 Prv: 0.9 Cur: 0.8	WACC Prv: 5.3% Cur: 5.3%	ROE Prv: 0.2% Cur: 2.3%	ROA Prv: 0.2% Cur: 1.7%			



# 2023年3月期 通期業績見通し

## 建機用フィルタ事業

- 中国市場の低迷により新車の販売台数は前年度を下回る一方、日本、北米、欧州、アジア市場における建設機械市場の需要は、引き続き堅調に推移する見通し
- 物流コストや資材価格の高騰については依然として先行き不透明な状況が継続、随時価格転嫁を実施する方針
- サプライチェーンの見直しや生産地移管による安定した生産供給体制の構築及び為替や原材料調達の安定化を図り、収益性の改善に努める

## エアフィルタ事業

- 既存製品の交換需要の回復及び、ナノファイバー製エアフィルタをはじめとした高付加価値製品の展開により、オフィスビルや工場、鉄道車両等への採用に向けた取り組み進展
- 生産効率の向上や経費削減を徹底し収益改善を図る

### ヘルスケア事業：

家庭用マスク市場において、販売量の減少が見込まれる中でも営業利益の確保が図れる体制を構築

連結上の収益に与える影響額は極めて軽微であることから、  
**2023年3月期は建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示**

		2021/3期 実績	2022/3期 実績	2023/3期 見通し	前期比
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)
売上高		14,587	18,821	17,800	△1,021
	建機用フィルタ※	10,970	15,592	15,000	△592
	エアフィルタ	2,607	2,577	2,800	222
	ヘルスケア※	1,009	651	—	△651
営業利益		△145	1,344	700	△644
	建機用フィルタ※	22	1,797	660	△1,137
	エアフィルタ	△18	△123	40	163
	ヘルスケア※	△150	△329	—	329
<b>営業利益率</b>		△1.0%	7.1%	3.9%	△3.2Pt
経常利益		△135	1,317	650	△667
<b>経常利益率</b>		△0.9%	7.0%	3.7%	△3.3Pt
当期純利益		750	47	458	410
<b>当期純利益率</b>		5.1%	0.3%	2.6%	2.3Pt
為替レート (円)	USD	106.1	112.4	122.0	8.6%
	EUR	123.7	130.6	137.0	4.9%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

※ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2023/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

※2021/3期及び2022/3期の営業利益については、全社費用として別掲していた本社及び子会社の管理部門の一般管理費等の費用について、各セグメントの営業利益に含めております。



	2021/3期 実績		2022/3期 実績		2023/3期 見通し		前期比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ	9,713	66.6%	14,169	75.3%	13,273	74.6%	△896	△6.3%
ライン品	4,178	28.6%	5,633	29.9%	5,733	32.2%	100	1.8%
補給品	5,534	37.9%	8,536	45.4%	7,539	42.4%	△996	△11.7%
産業用フィルタ	470	3.2%	522	2.8%	653	3.7%	130	25.0%
プロセス用フィルタ	786	5.4%	900	4.8%	1,072	6.0%	172	19.1%
建機用フィルタ 合計	10,970	75.2%	15,592	82.8%	15,000	84.3%	△592	△3.8%
エアフィルタ	2,607	17.9%	2,577	13.7%	2,800	15.7%	222	8.6%
ヘルスケア※1	1,009	6.9%	651	3.5%	-	-	△651	△100.0%
売上高合計	14,587	100.0%	18,821	100.0%	17,800	100.0%	△1,021	△5.4%

※1 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2023/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

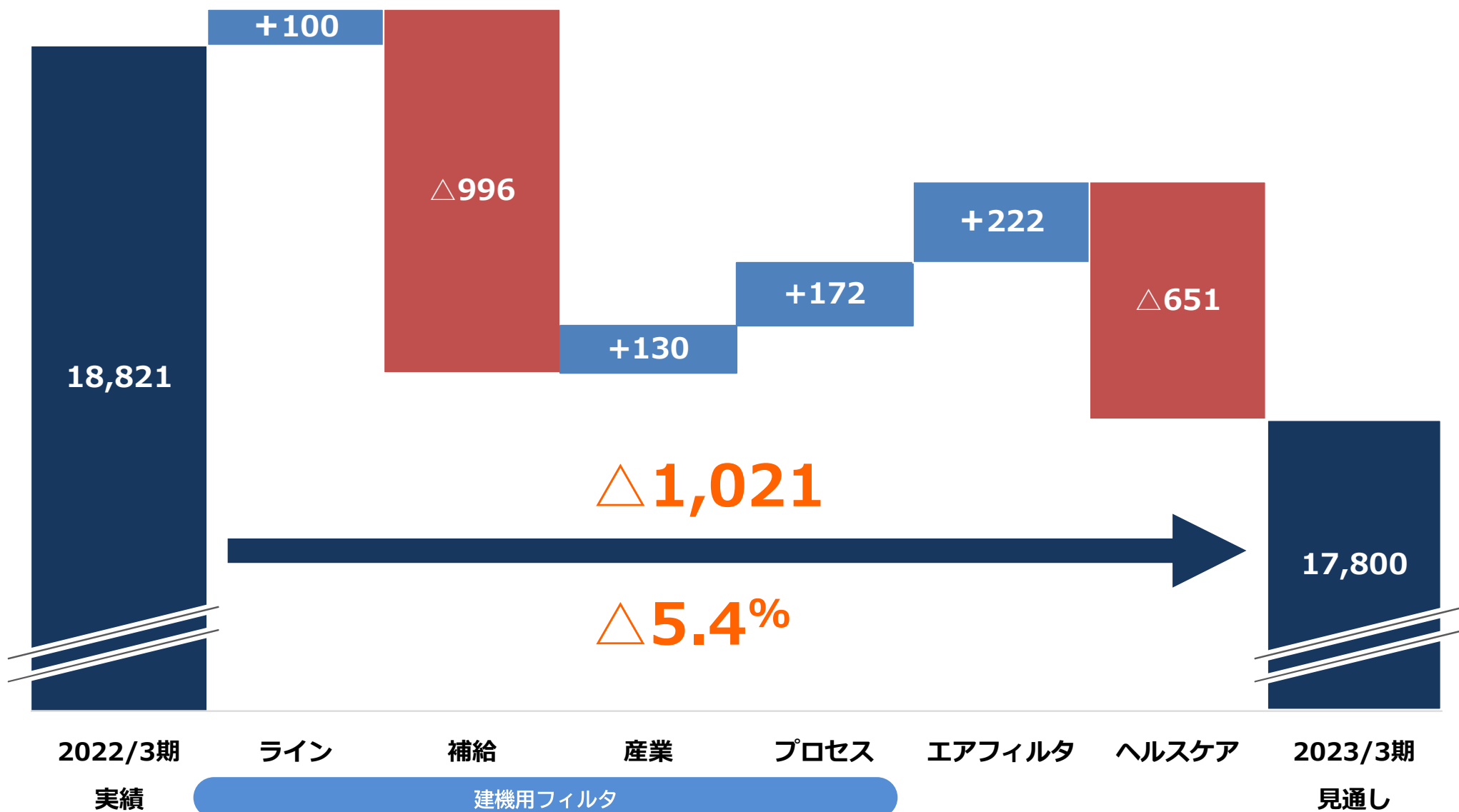
	2021/3期 実績		2022/3期 実績		2023/3期 見通し		前期比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
<b>建機用フィルタ※1</b>	10,970	75.2%	15,592	82.8%	15,000	84.3%	△592	△3.8%
国内	5,019	34.4%	7,294	38.8%	7,079	39.8%	△215	△3.0%
北米	1,915	13.1%	2,939	15.6%	3,135	17.6%	196	6.7%
中国	1,552	10.6%	1,711	9.1%	1,507	8.5%	△204	△11.9%
アジア	1,235	8.5%	1,889	10.0%	1,902	10.7%	12	0.6%
欧州	1,243	8.5%	1,755	9.3%	1,371	7.7%	△384	△21.9%
その他（中東他）	3	0.0%	2	0.0%	5	0.0%	2	122.3%
<b>エアフィルタ（国内）※2</b>	2,607	17.9%	2,577	13.7%	2,800	15.2%	222	8.6%
<b>ヘルスケア（国内）</b>	1,009	6.9%	651	3.5%	—	—	△651	△100.0%
<b>売上高合計</b>	14,587	100.0%	18,821	100.0%	17,800	100.0%	△1,021	△5.4%

※1 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

※2 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2023/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

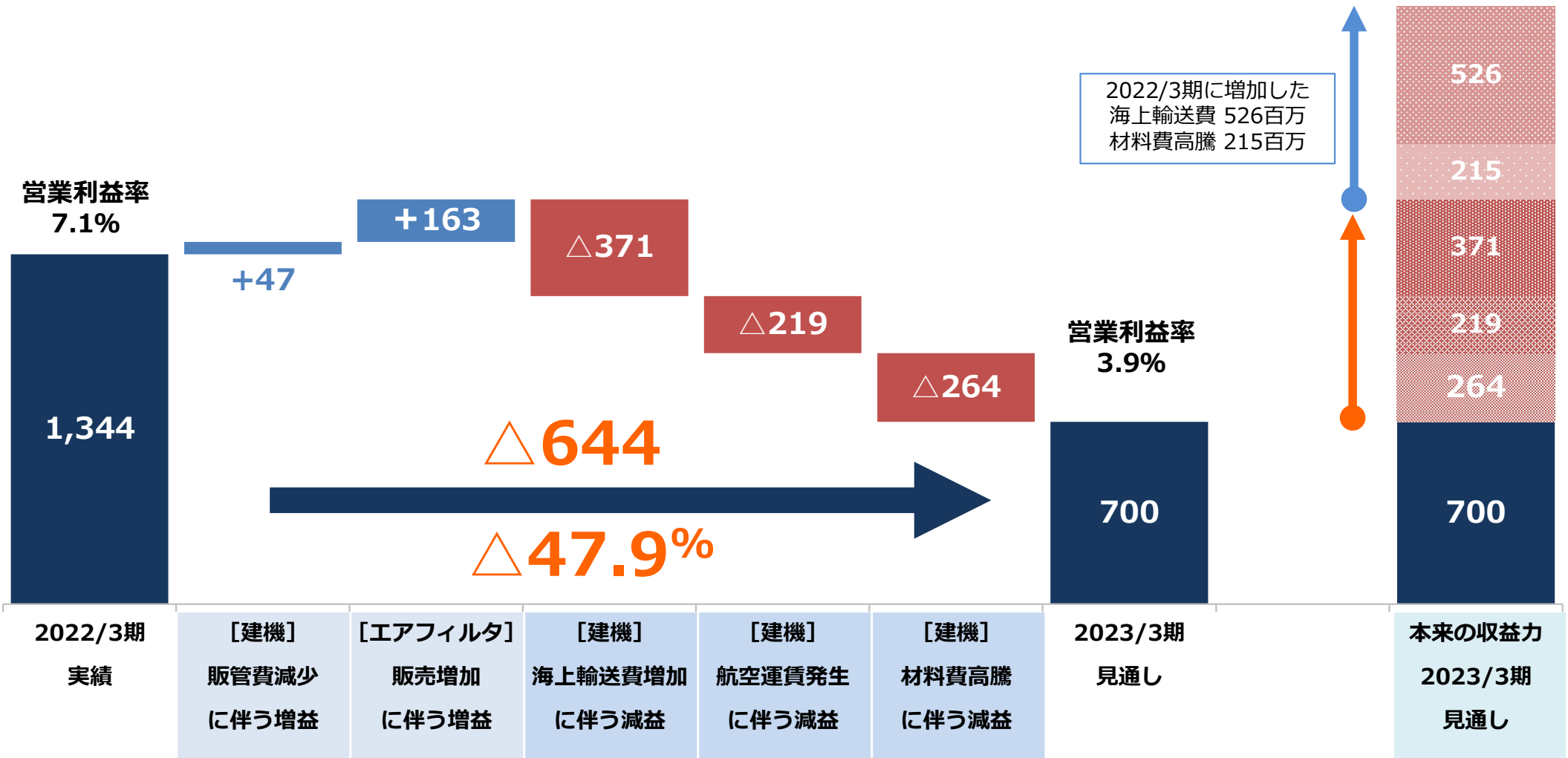
\* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

(単位：百万円)



(単位：百万円)

営業利益率  
12.9%  
2,295



中間配当3.0円、期末配当3.0円の年間6.0円

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期 見通し
<b>1株当たり 年間配当金</b>	6.0円	6.0円	6.0円	6.0円
<b>DOE<sup>※1</sup></b>	2.3%	2.2%	2.1%	2.1%
<b>総還元性向<sup>※2</sup></b>	72.3%	59.3%	960.4%	97.7%

※1 DOE（株主資本配当率）＝（年間配当総額÷株主資本）×100＝（ROE×配当性向）

※2 総還元性向＝{(配当金総額＋株主優待＋自己株式取得)÷親会社株主に帰属する当期純利益}×100



# 思

## Ⅱ 市場を取り巻く環境

**“建機市場を取り巻く環境”**

- 北米・東南アジア市場をはじめ、高水準の稼働時間で新車需要は堅調
- 上海ロックダウン・ロシア-ウクライナ情勢により、中国市場・欧州市場は不透明
- 依然として半導体等の部品供給に課題があるが、市場は堅調

2022/3 Q4

2023/3 Q1

今後の見通し

日本

建機の稼働時間と新車需要は高い水準で推移  
海上輸送費や主要原材料価格が高騰

建機の稼働時間と新車需要は高い水準で推移  
海上輸送費や主要原材料価格が高騰

建機の需要は堅調に推移  
エネルギー・原材料価格や物流コストの高騰、急激な円安が進行

北米

建機の稼働時間と新車需要は高い水準で推移  
海上輸送費や主要原材料価格が高騰

建機の稼働時間と新車需要は高い水準で推移  
海上輸送費や主要原材料価格が高騰

建機の稼働時間と新車需要は高い水準で推移。海上輸送費・主要原材料価格高騰の影響が継続

欧州

建機の新車需要、レンタル需要共に建機の需要は高い水準で推移  
海上輸送費や主要原材料価格が高騰

建機の稼働時間と新車需要は高い水準で推移  
海上輸送費や主要原材料価格が高騰

ロシア、ウクライナ情勢の深刻化により需要の見通しに不透明感  
海上輸送費や主要原材料価格高騰の影響が継続

アジア

COVID-19からの回復が鮮明になり建機稼働時間が高い水準で推移

COVID-19からの回復が鮮明になり建機稼働時間が高い水準で推移

インド、インドネシア中心に需要は好調  
海上輸送費や主要原材料価格高騰の影響が継続

中国

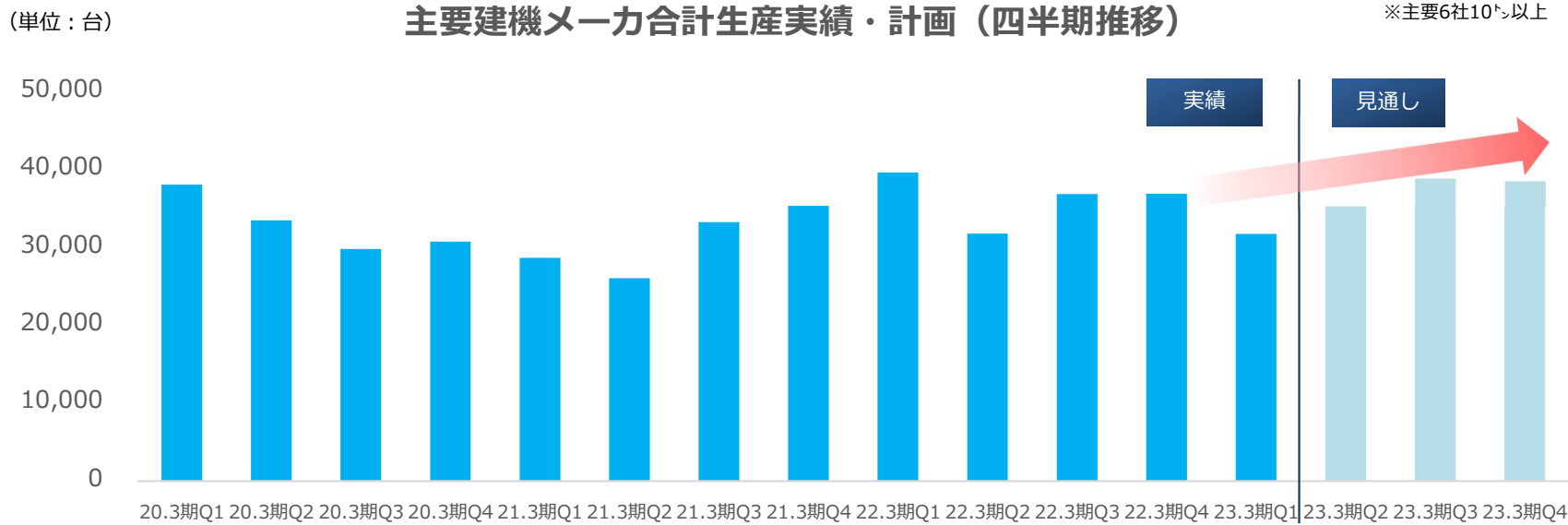
オミクロン株感染拡大を受けた政府の活動制限の強化を主因に低迷

COVID-19感染拡大を受けたロックダウンの影響により低迷

市況の低迷により新車の販売台数は前年度を大幅に下回る見通し

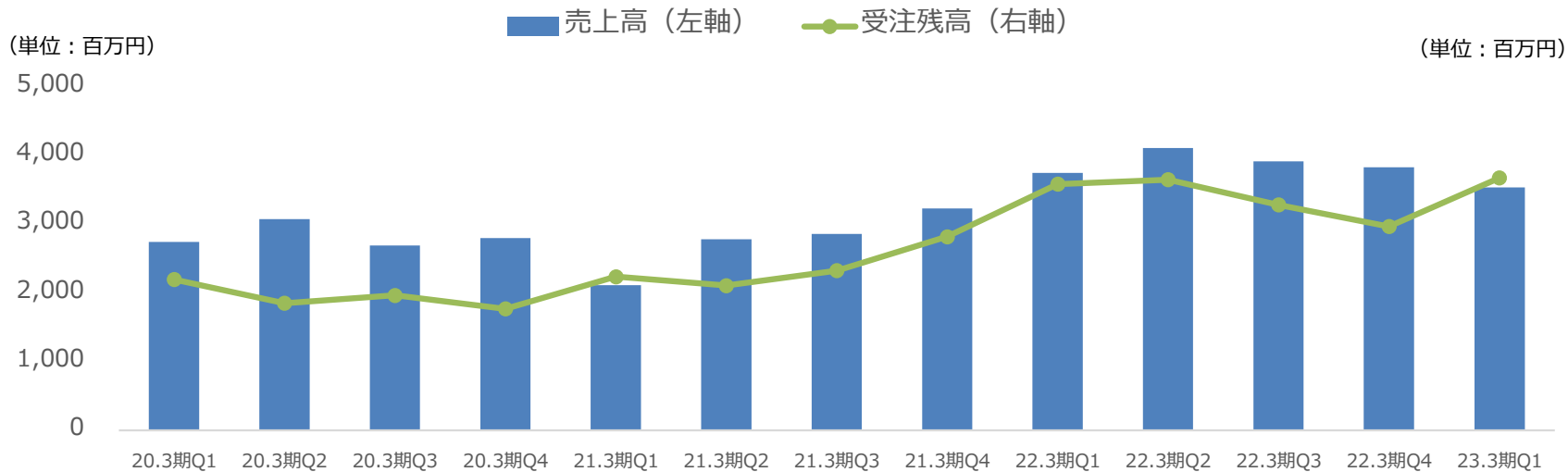


- 市場環境は一部不透明だが、生産計画台数及び受注水準も堅調に推移



高い稼働時間に  
連動して  
新車需要は堅調

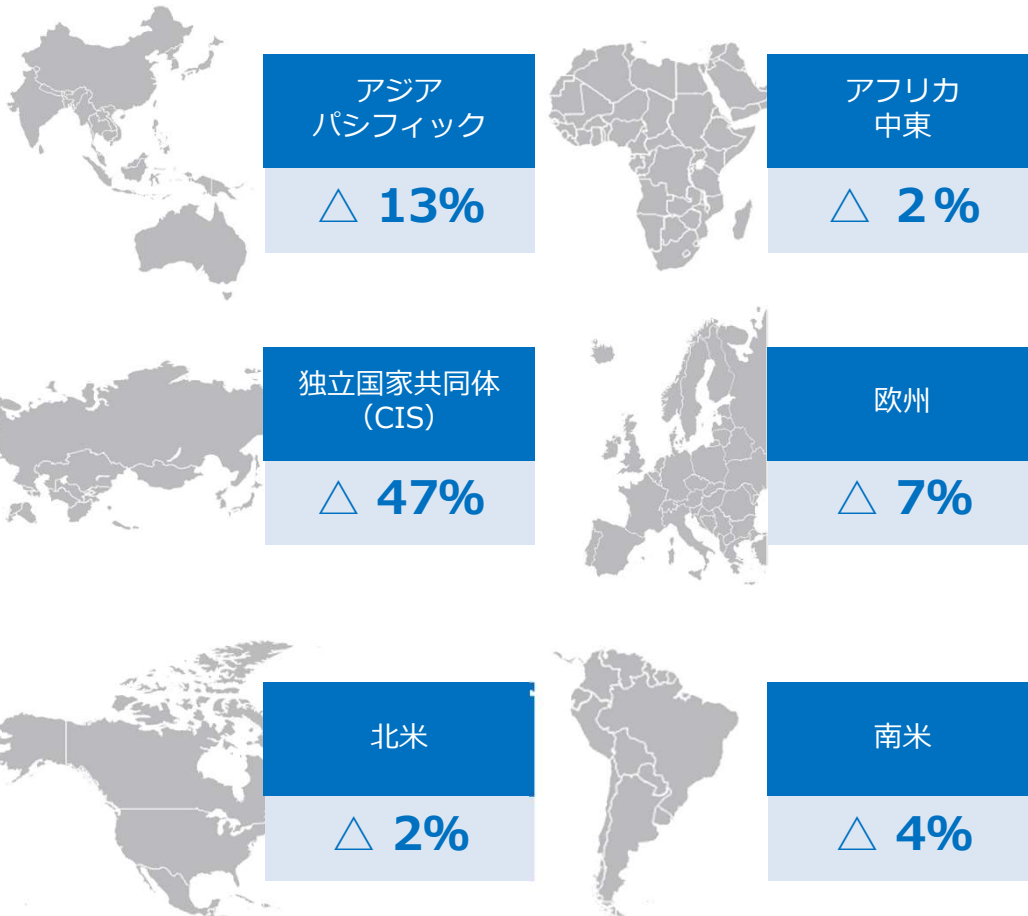
当社の建機用フィルタ売上高と確定受注残高内示受注残高（四半期推移）



補給用パーツの  
受注消化が進むが  
受注残高は高い水準  
を維持

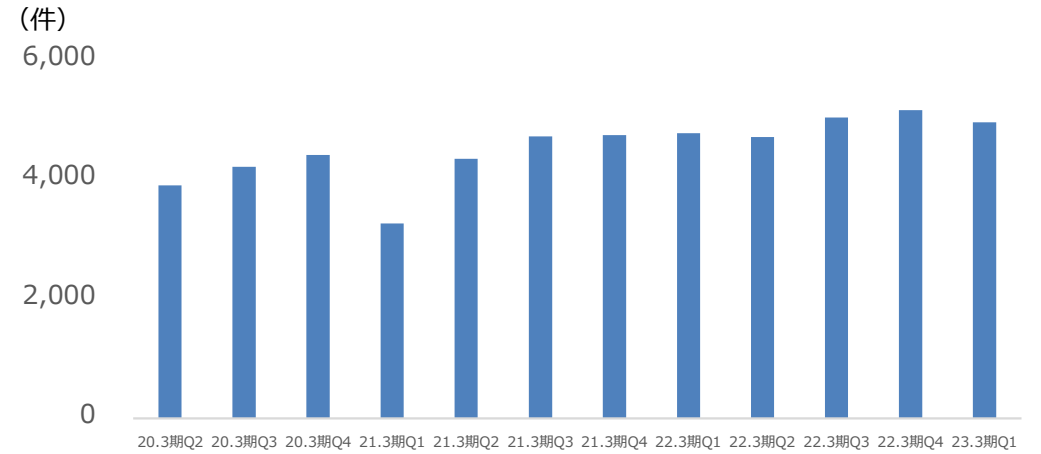
- 前年比マイナス地域が目立つ一方で、需要は依然として高い状況
- 旺盛な需要に対して、適切に供給できるか課題
- 金利引き上げの影響は不透明だが、北米の住宅在庫は現状も低い水準

## 地域別 建機需要の動向（指数）



デマンド動向指数（21年対22年予想）

## 北米市場 住宅着工件数の推移



(Bureau of the Censusより当社作成)

## 北米市場 総住宅在庫の推移



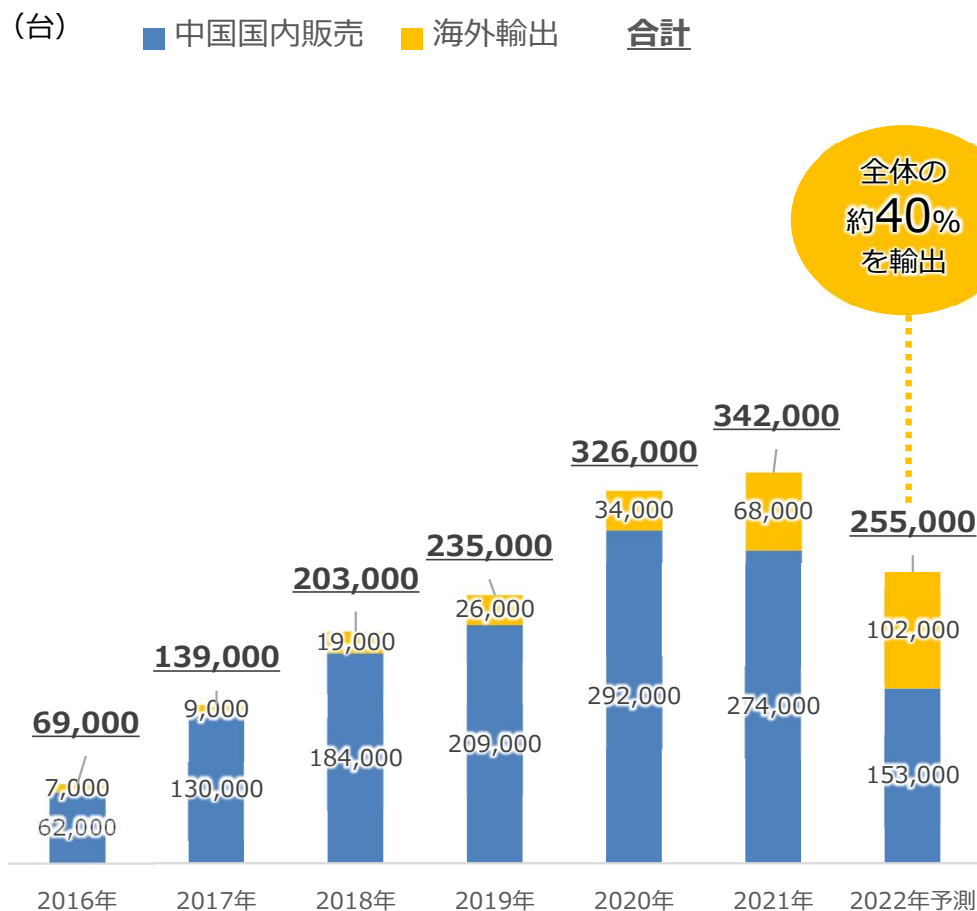
(TRADINGECONOMICSより引用)

TRADINGECONOMICS.COM | NATIONAL ASSOCIATION OF REALTORS

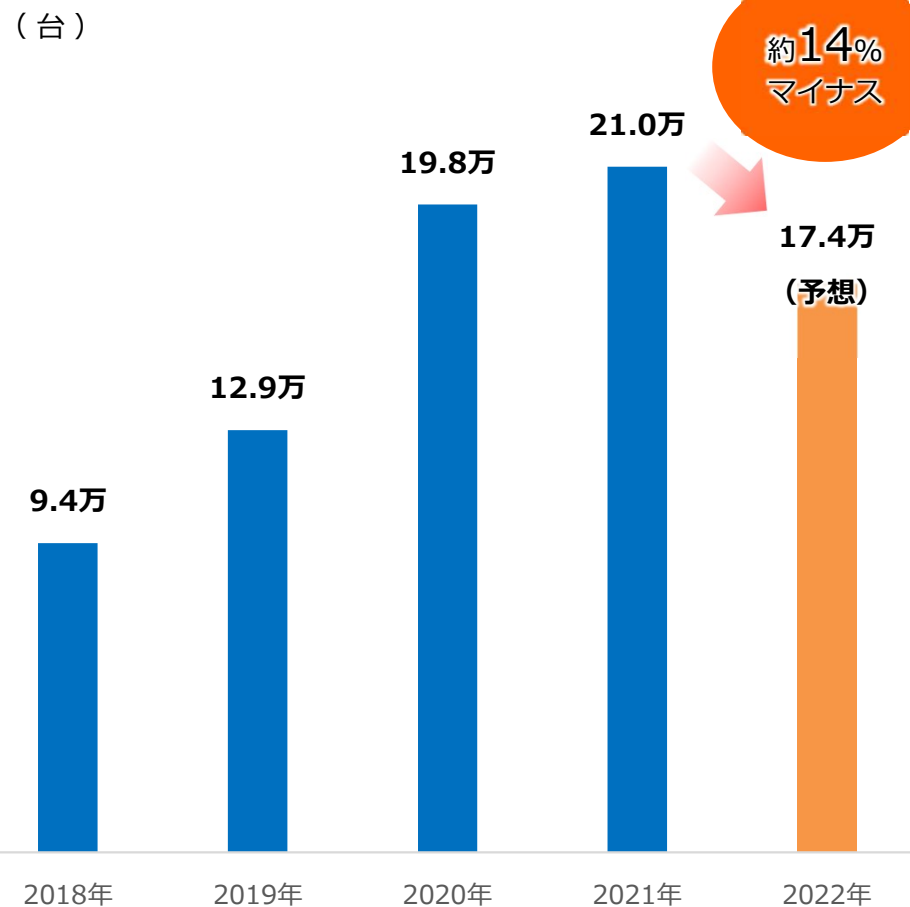


- 上海ロックダウンの影響が強く、22年は昨年比20%以上の需要減少を見込む
- 成長機会を海外市場に求めて、輸出割合は今後も高まる予想

## 中国年間販売台数推移



## 主要中国建機メーカー5社生産台数（計画）

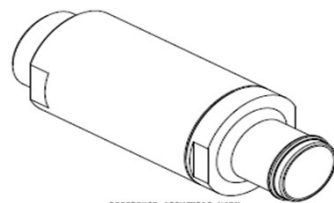


- 北米市場では初となる農業機械（コンバイン）のフィルタ採用が決定
- 中国市場は中国建機メーカーの手掛ける鉱山用ダンプトラックの提案が進展中

## 北米市場における取り組み

農業機械（コンバイン）大手企業にて  
当社製品の採用が決定

農業機械用フィルタ分野に初進出



北米市場  
2023/2Q

欧州市場  
2023/1Q

搭載される  
フィルタ形状  
2024/2Q



アメリカ・  
カナダにて  
実機試験を実施



ベルギー・  
ドイツにて  
実機試験を実施



量産開始予定

今後も建機で培ったノウハウを活かし  
他の市場への横展開を積極的に実施

## 中国市場における取り組み

油圧ショベルの実績を活用  
その他機械にも提案活動を開始

建設現場では様々な建設機械が稼働



採掘  
現場



都市  
工事

採掘現場と都市工事を行う車両を  
ターゲットに営業活動を実施

車両系建設機械

高所作業車



# “エアフィルタ市場を取り巻く環境”

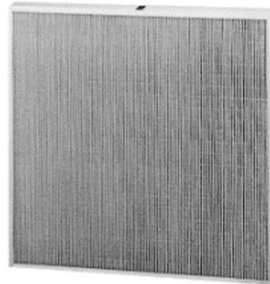
- 主力市場であるビル・建物市場ではコロナ渦の影響は限定的で、需要は前期横這いを見込む
- 各種コストの高騰を受けて、メンテナンスコストの抑制ニーズが高まる

	市場概要	市場環境	
		前期	今期見通し
ビル・建物	オフィス・商業ビル等に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	都市部のリピート案件は安定的に受注も、新規案件は動きが鈍い。	コロナ第7波の影響を受けつつも、ビル管理は年間契約が主のためまだ影響は見られず。
一般工場	工場に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	大規模改修の動きは鈍いが必要な設備投資には前向きな動き。	大きなマイナス要因はないが、生産現場での材料費高騰からの設備投資、消耗品の買い控えが懸念される。
半導体工場	ケミカルフィルタの交換市場	引き続き設備投資が好調	引き続き設備投資が好調。一方で業界内での経営統合など不安定要因も垣間見れる。
環境機器	一般家庭で使われる住宅空調・空気清浄機のエアフィルタ	住宅関連はウッドショックの影響が続くも持ち直し傾向。	ウッドショックの影響はほぼ消えた。3Q後半での受注増も見られ回復基調。
車両	鉄道等の空調用エアフィルタ 建機の粉塵用エアフィルタ	建機用フィルタは堅調。 鉄道用は計画通り受注。	鉄道は横ばい。建機用フィルタは受注調整による予定の見直しはあったが昨年は増加見込み。

- フィルタ性能・環境対応性で高い評価を獲得
- MERV14規格の信頼性と日本メーカーの取得希少性が高い競争力になる

## 新製品 NanoWHELP®

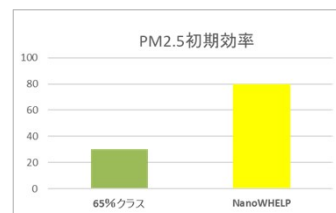
世界初ナノフィルタ製  
エアフィルタ



### 製品特徴

- ヤマシン・ナノフィルタ®の性能を活かし、**持続的な低圧損を実現**
- 日本メーカーの中高性能フィルタで唯一、ビル空調最高レベルの**MERV14を取得済**
- 高性能に加え、**CO2削減にも効果的**

**PM2.5の捕集効率96%**  
**初期効率80%以上**



### 想定市場

データセンターやサーバー室・  
IT化された工場・公共施設・医療施設など。  
空気質への関心の深まりから一般ビルでも。

### 新規導入の状況

#### 世界最大級の 超大型 物流センター



大手総合物流企業が展開する世界最大級の超大型の物流プロジェクト。東京ドーム14個分の広さを誇る。

#### 川崎地域 商業施設



2020年頃からの大規模改装で様々なテナントが入る複合型商業施設としてリニューアル。

#### 渋谷地域 商業施設



渋谷駅南街区再開発プロジェクトの中核である複合型商業施設。高層のホテル棟と低層の専門店街で構成される。

#### みなとみらい地域 商業施設



みなとみらいにある商業施設。ショールームのある大型の専門店などが中心。



# 未来

## Ⅲ 今後の戦略

- 建機用フィルタのヤマシナノフィルタ®への切り替えが2024年3月期より順次開始。社会への価値提供を通じて、企業としての成長を両立。

**ヤマシナノフィルタ®**



売上単価は既存製品の  
**約2倍**  
中長期的な収益の柱に成長

**YAMASHIN Nano Filter**



**Iotセンサ**



フィルタ寿命や作動油の汚染度をセンサーで測定。フィルタの価値を一層高める

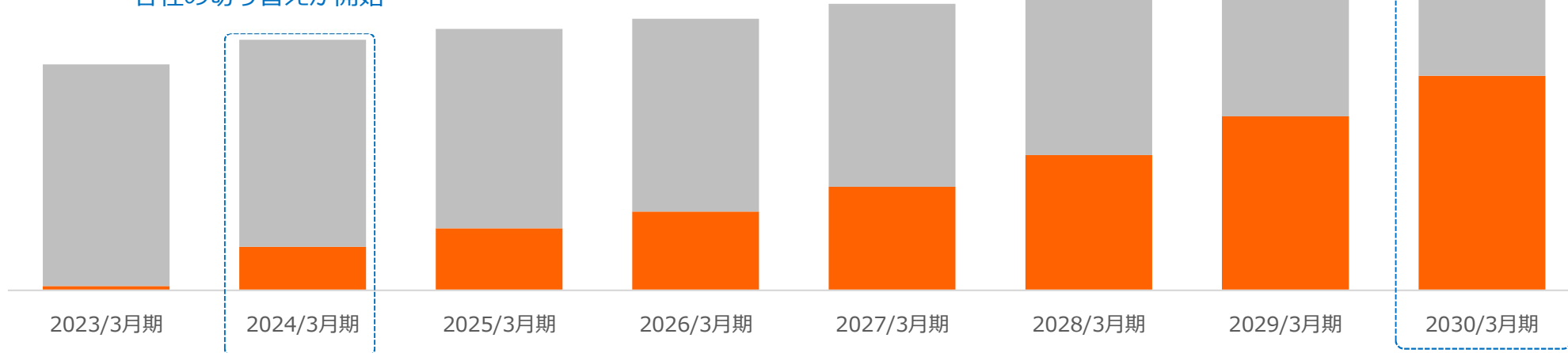


## ナノフィルタ製のフィルタの売上予想

■ ロングライフフィルタ売上予想    ■ ガラスろ材リターンフィルタ売上予想

ヤマシナノフィルタ®へ  
各社の切り替えが開始

ロングライフフィルタは  
売上高の約70%超まで増加を見込む





## バリューチェーンの強化

本来の収益力である

**営業利益率20%**を

**中期的に達成を目指す**

### 強化する施策

1

#### 建機用フィルタビジネス

PAC21、航空運賃の抑制、固定費削減、経費削減による収益性改善

2

#### エアフィルタビジネス

YCF生産移管、SAP導入（原価管理体制強化）による製造原価低減PAC21、固定費削減による収益性改善、不具合低減

3

#### ヘルスケアビジネス

マスク生産設備投資による製造ライン自動化、省力化による固定費削減、製造原価低減販売促進費、広告宣伝費等の効率運用

4

#### サプライチェーン強化

生産拠点再編（新佐賀工場、ベトナム工場（新設）、北米工場）生産能力大幅増強、製造コスト低減

## サプライチェーンの強化

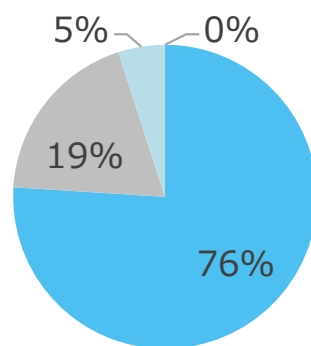
サプライチェーン強化のメインピック、  
**ベトナム新工場が竣工**

一極集中生産体制からマルチプル生産体制への移行によるリスクヘッジ、材料の現地調達率が向上することにより顧客要望により柔軟な対応が可能に

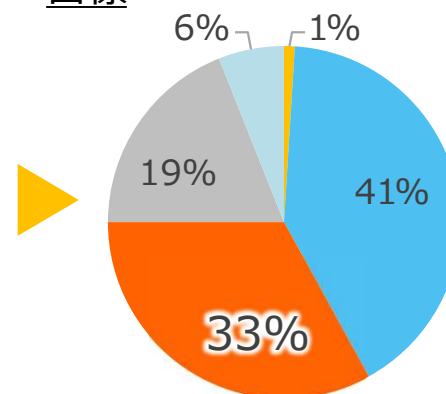


■ YAI ■ フィリピン ■ ベトナム ■ 佐賀 ■ 中国

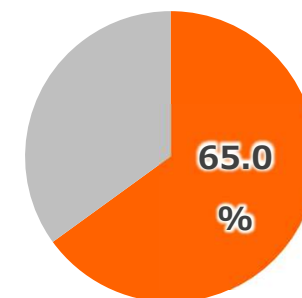
竣工前



目標



ベトナムにおける  
部品調達率



2023年3月期

- ヤマシナノフィルタ®の性能を活かし、環境配慮型製品を積極的に展開。  
中期的に売上規模50億円を目指す。

## 技術のマイスター (製品力)

**NanoWHELP®**  
世界初ナノフィルタ製  
エアフィルタ



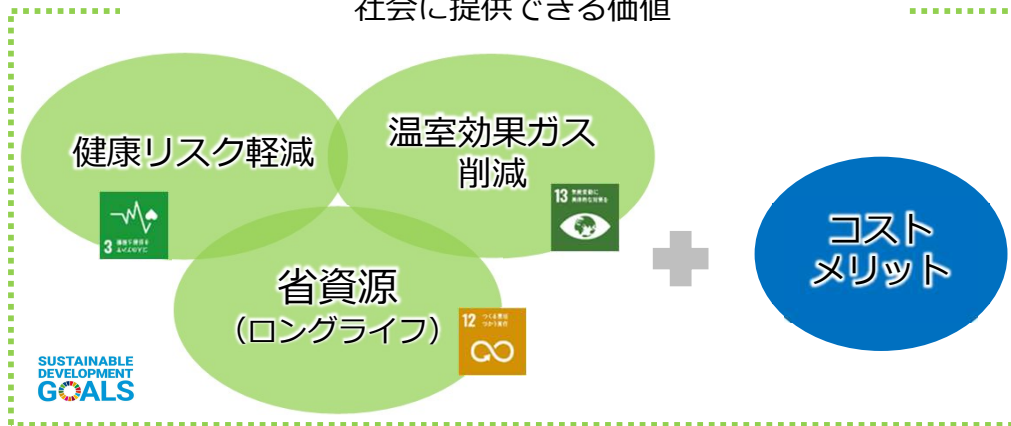
YAMASHIN  
Nano Filter™

## モノづくりのカ (ケイパビリティ)

社内体制の強化

- ・ SAPの導入
- ・ 人員の最適化
- ・ 販売網の見直し

社会に提供できる価値



## 今後展開を目指す市場

### エアフィルタ性能の最高レベル規格

**MERV14・15・16**を

日本メーカーの中高性能フィルタで唯一取得



中期的に売上高  
**50**億円を目指す

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

企業活動を通じたSDGsの達成への貢献

ESG経営の実践

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

提言への賛同

環境

空気

健康

## 仕濾過事

ろかじにつかふる



経営理念：「仕濾過事」(ろかじにつかふる)の具現化

当社が取り組む  
3つのテーマ



フィルタビジネスを通じた  
社会的課題解決

**建機用フィルタ**

採用が進む  
高付加価値フィルタ

新素材・新技術による環境対応で製品需要の拡大を目指す

**エアフィルタ**

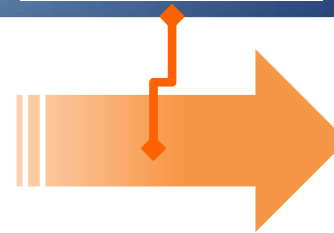
世界初のナノフィルタ製  
エアフィルタを生産

エアフィルタ事業の事業拡大による大気汚染の防止に貢献

当社の強み



建機用フィルタを突き詰めた結果開発できた、革新的新技術



イノベーション創出力

ビジネス  
モデル

新分野の  
発掘力

技術のマイスター

自社  
開発/生産

製品への  
探求心

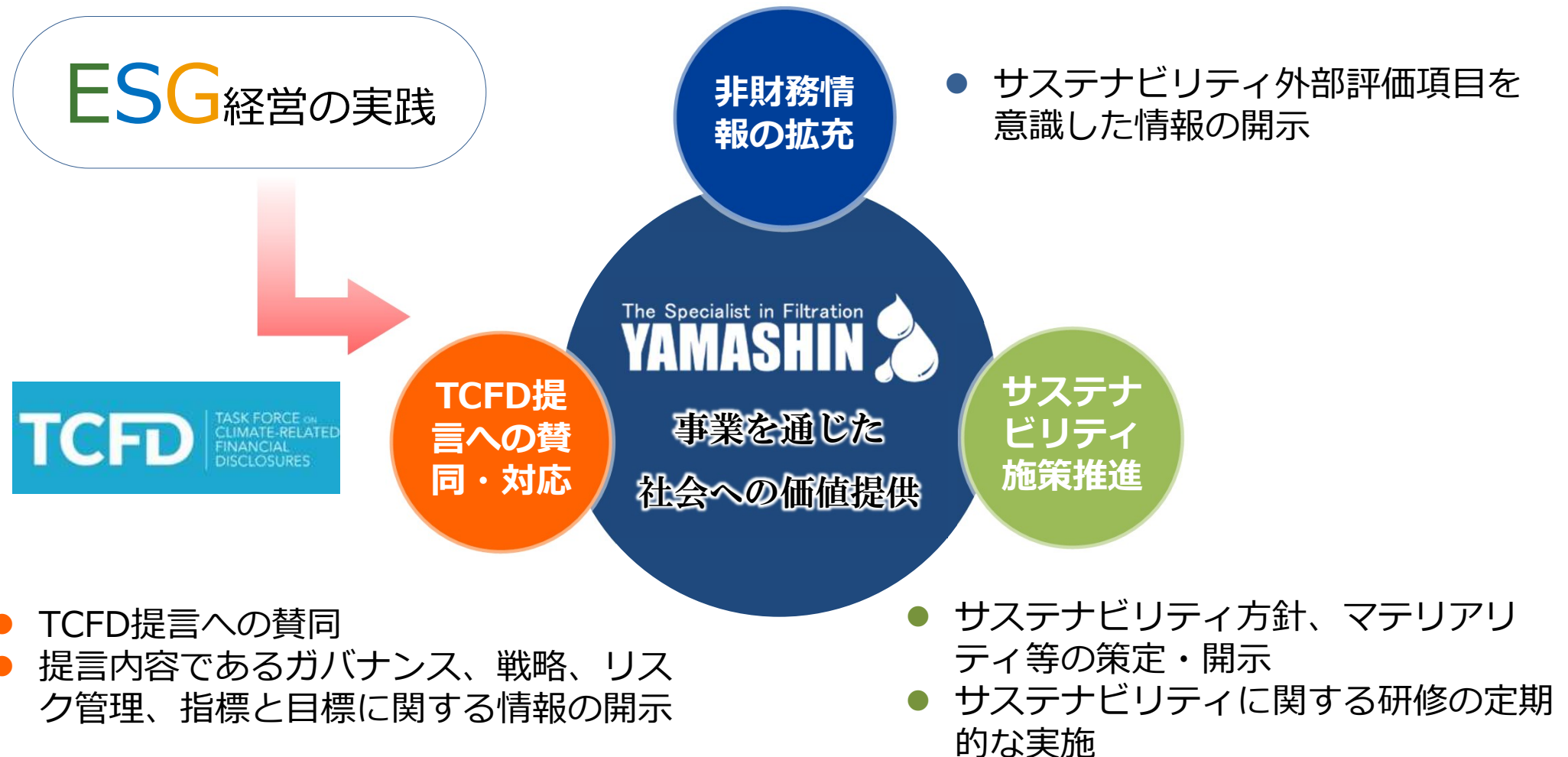
対外的に  
もたらす価値

資源の低減

CO<sub>2</sub>の削減

健康のための  
医療福祉提供

- ESG経営の実践を行うべく、グループ全体でプロジェクト・施策を推進。



## ●サステナビリティ 施策推進の一環としてYSSが始動。

社会課題に対し、当社が取り組むべきマテリアリティの特定を実施

### YSS

名称 : Yamashin Sustainable Solutions

#### (発足時のテーマ)

社会課題解決と事業機会の創出 :

#### (検討の方向性)

・環境・気候変動などの社会課題解決に向けて、ヤマシ  
ンが資する技術・製品を活かし、CO<sub>2</sub>の削減、産業廃棄  
物低減等に貢献を目指すための施策の検討。

・将来的に定量的なKPIなどの算出。

#### 【重点的製品】

**建機用フィルタ** : ナノフィルタ製油圧フィルタ

**エアフィルタ** : ナノフィルタ製エアフィルタ(NanoWHELP®)

**ヘルスクア** : ナノフィルタ製マスク

### マテリアリティの特定

環境	気候変動	<b>気候変動対策・脱炭素社会への貢献</b> ■ 世界全体で求められるカーボンニュートラルの実現に向け、製品と生産の両面で気候変動対策に資するビジネスモデルを実現する
	資源循環	<b>フィルタ技術による環境負荷低減と循環型社会への貢献</b> ■ 資源循環に着目し、バリューチェーンを通じて経済効率と環境効率の高いビジネスモデルを実現する
空気・健康	大気環境と健康	<b>大気汚染による健康被害の抑止 ~ 安心・安全な暮らしへの貢献</b> ■ フィルタ技術で、大気汚染やPMによる健康被害から人々を守る ■ フィルタ技術で、室内の空気の質をより高める
	感染症対策	<b>感染症による疾病の予防 ~ 感染症対策に貢献するフィルタの力</b> ■ フィルタ技術の高度化・高機能化により、感染症による疾病から人々を守る
人・仕事	技術革新	<b>技術の研鑽と応用 ~ 社会が求めるフィルタ技術の追求</b> ■ 独自の技術を研鑽し、世の中になかったフィルタを生み出す ■ 独自の技術を応用し、新たな価値を創り出す
	働きがい	<b>働きがい、活躍する人材 ~ 「仕濾過事」の実践</b> ■ お客様、仲間、家族に感謝し感謝される、働きがいのある仕事をする ■ 働き方を刷新し、多様な人材の活躍を促進する
	人権尊重	<b>人権デュー・ディリジェンスの推進 ~ 社会から信頼される企業へ</b> ■ バリューチェーン全体で人権を尊重し、企業としての責任を果たす

- 外部評価等への対応の強化、CDP気候変動質問書には初回答を予定
- サステナビリティレポート2022よりTCFD提言にあわせた開示を開始、今後数年かけて提言に沿った取り組みを推進
- 第三者保証機関によるパフォーマンスデータの正確性・網羅性を確保することで、非財務数値のクオリティ向上を目指す

項目	2022/1Q			2022/2Q			2022/3Q			2022/4Q		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
●ESG外部評価等対応												
・CDP	----->						7/27 回答〆切					
・MSCI・FTSE	-----> 適宜対応											
●サステナビリティレポート2022制作 (日本語版*)												
・TCFD対応(初回開示)	----->											
・第三者保証(Scope 1, 2)				----->								
●他施策												
・YSS委員会運営	-----> 毎月開催											

\* 英語版は12月末に発行予定

建機用フィルタ

YCF (生産)

YST (販売・R&D)

YAI (販売・生産)

YTL (販売)

YEB (販売)

YVC (生産)

The Specialist in Filtration

**YAMASHIN**



建設機械フィルタの専門メーカーから  
「総合フィルタメーカー」



飛躍を加速



**YAMASHIN**  
Nano Filter

**YAMASHIN Nano**  
Filter®産業資材

第3のポートフォリオ

アパレル

消費財

再生可能  
I材料-素材

生活用品



**YAMASHIN**  
Nano Filter

エアフィルタ

(販売・生産)













# 目次

参考資料

① 当社基本情報



当社グループは、フィルタのキーパーツである「ろ材」の主な材料であるガラス繊維や不織布及びフィルタの構成部品に使用される金属加工品や樹脂加工品等の仕入を行い、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタ、エアフィルタを製造しております。また、当社独自に開発した合成高分子系ナノファイバーを用いたオリジナルマスク及び取替用インナーシートの製造・販売を2020年5月より開始しております。

分野	取扱製品	製品イメージ	売上構成 2023年3月期業績予想
建機用フィルタ	建機の駆動に不可欠である油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 様々な種類の建機		
ヘルスケア	合成高分子系ナノファイバーの特性である高捕集性能、密閉性、通気性を活かした高機能マスク、取替用インナーシート 用途: 国内外の一般消費者向け		
産業用フィルタ	様々な業界に応用されている油圧ユニットの作動油や潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 工作機械、冷凍用圧縮機、農業機械、船舶、鉄道車両、航空機やヘリコプター等の産業機械		
プロセス用フィルタ	顧客製品の製造工程で行われるろ過・分離に必要なフィルタ 用途: 電子部品、精密部品、液晶ディスプレイや食品等の業界		
エアフィルタ	粗塵、中高機能のエアフィルタ 用途: 一般ビル、ホテル、各種工場等の除塵・脱臭等		

# 決算

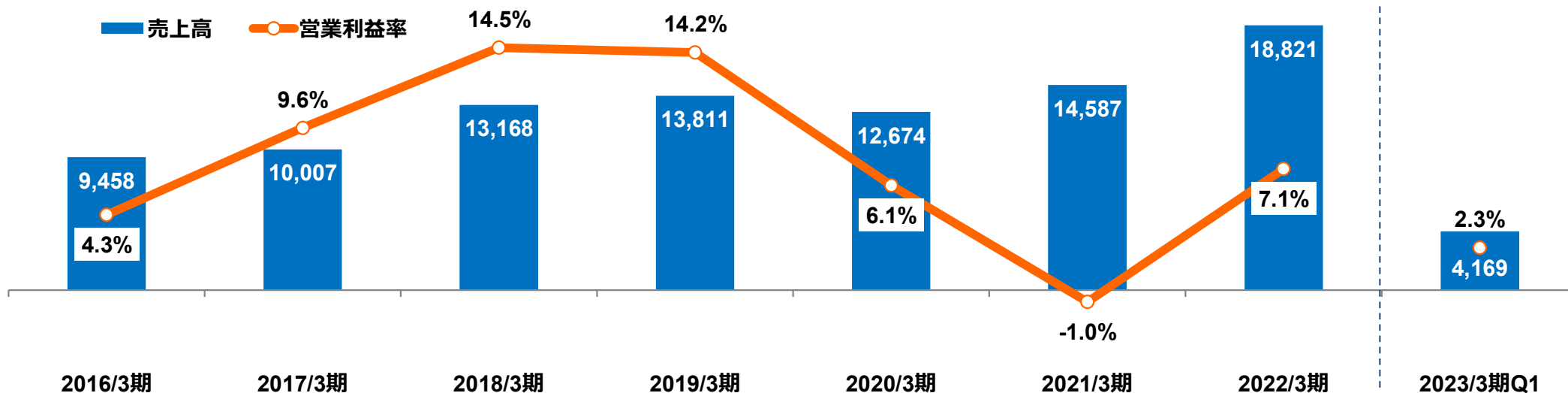
参考資料

②財務ハイライト

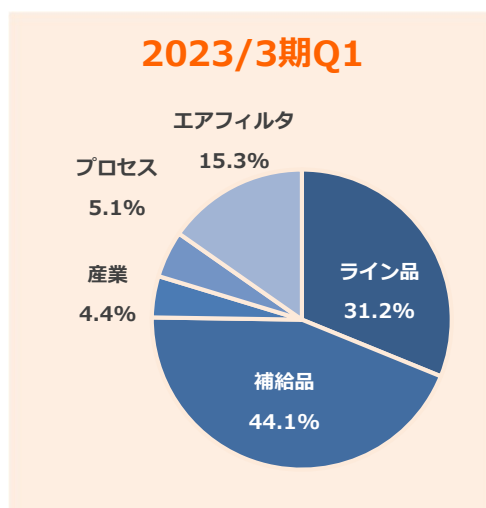
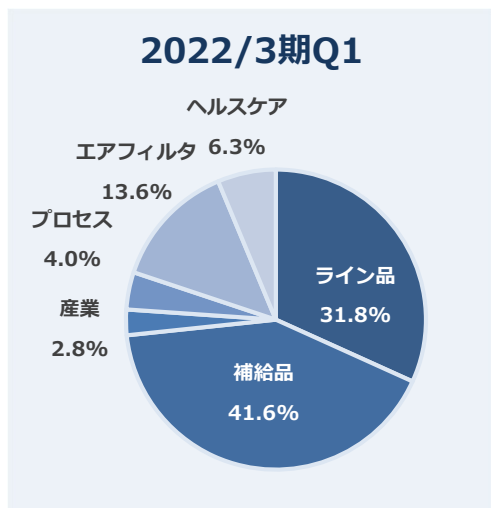


## 売上高・営業利益率推移

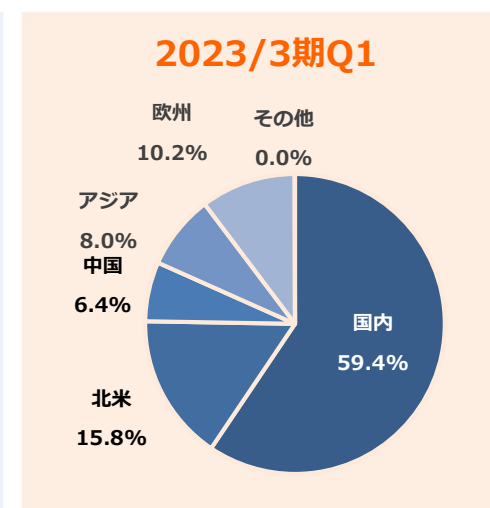
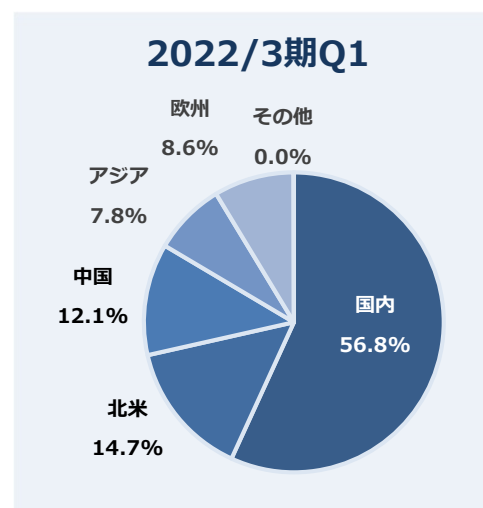
(単位：百万円)



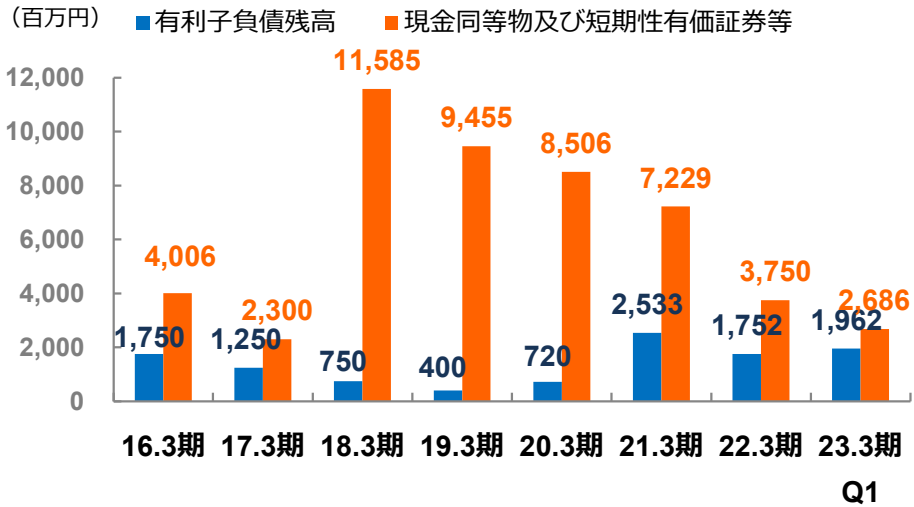
## 製品別売上高



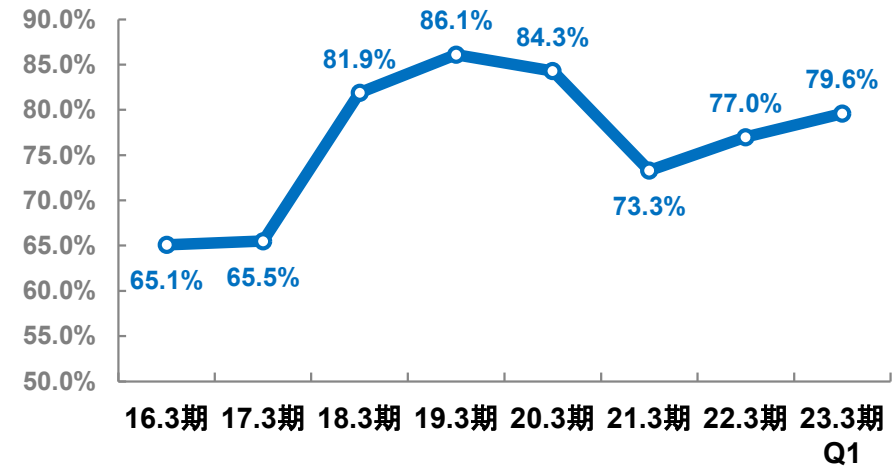
## 地域別売上高



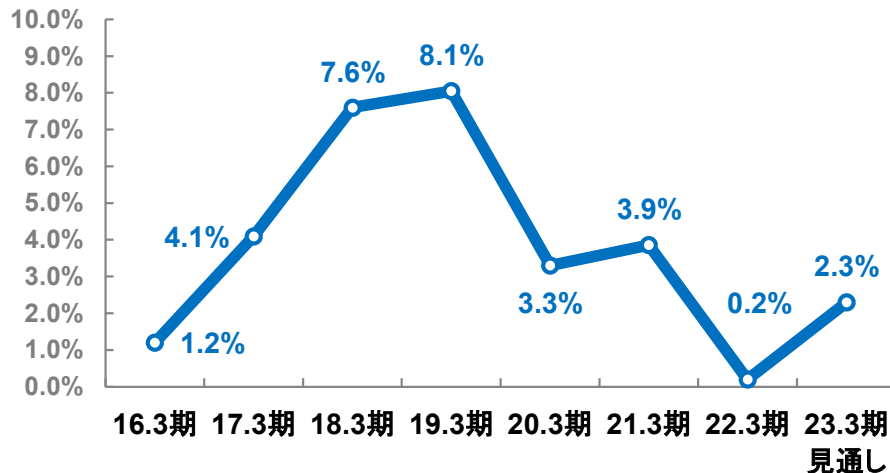
## 有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高



## 株主資本比率

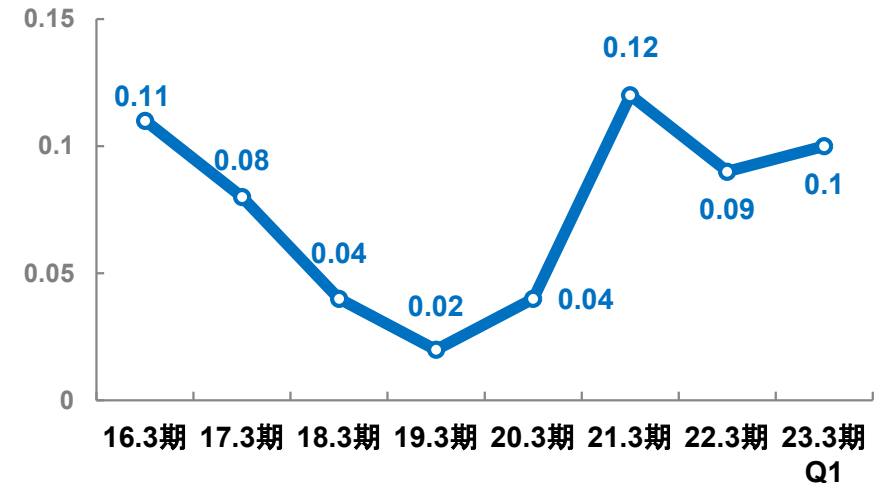


## ROE



※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

## D/Eレシオ



※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

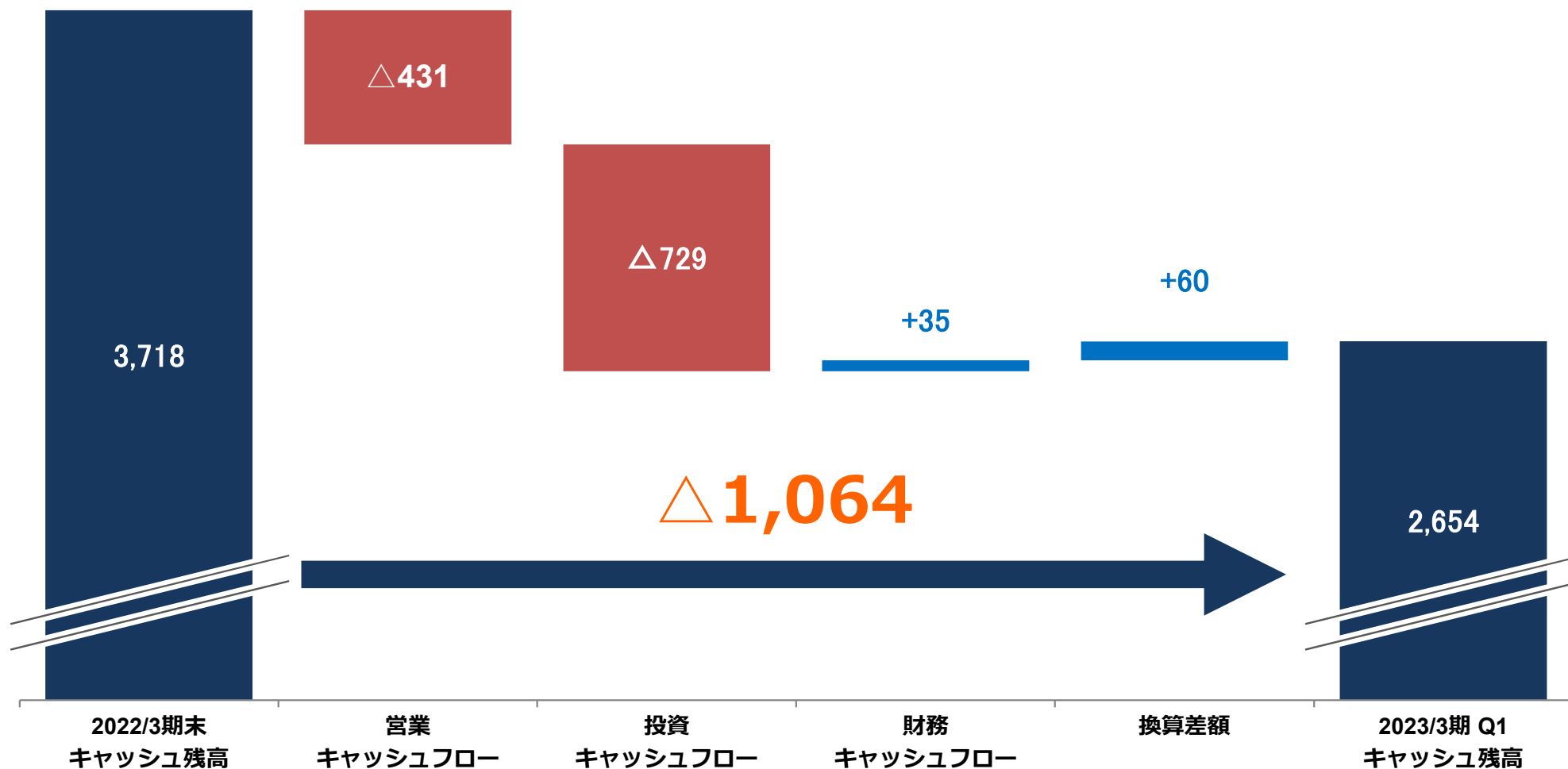
(単位：百万円)

	2022/3期 末	2023/3期 Q1末	増減額	増減率
<b>流動資産</b>	13,964	13,118	△ 845	△6.1%
現金及び預金	3,750	2,686	△ 1,063	△28.4%
受取手形及び売掛金	4,696	4,310	△ 385	△8.2%
商品・製品& 原材料・貯蔵品	4,775	5,308	532	11.2%
その他	742	813	71	9.6%
<b>固定資産</b>	12,747	12,735	△ 12	△0.1%
有形固定資産	11,609	11,671	62	0.5%
無形固定資産	236	208	△ 27	△11.8%
投資その他資産	901	855	△ 46	△5.2%
<b>資産合計</b>	26,712	25,854	△ 858	△3.2%

	2022/3期 末	2023/3期 Q1末	増減額	増減率
<b>流動負債</b>	4,634	3,907	△ 726	△15.7%
支払手形及び買掛金	2,213	1,943	△ 270	△12.2%
1年以内返済 短期借入金	403	723	320	79.3%
その他	2,016	1,241	△ 775	△38.5%
<b>固定負債</b>	1,506	1,378	△ 128	△8.5%
長期借入金	1,126	1,025	△ 100	△9.0%
退職給付に係る負債	232	226	△ 6	△2.8%
その他	147	126	△ 21	△14.4%
<b>純資産合計</b>	20,571	20,568	△ 2	0.0%
<b>負債・純資産合計</b>	26,712	25,854	△ 858	△3.2%

\*自己資本比率                      77.0%                      79.6%

(単位：百万円)



※1年未満に満期が到来する長期性預金(2022/3月期末 32百万円・2023/3月期 Q1 32百万円)については現金及び現金同等物の期末残高に含めておりません。

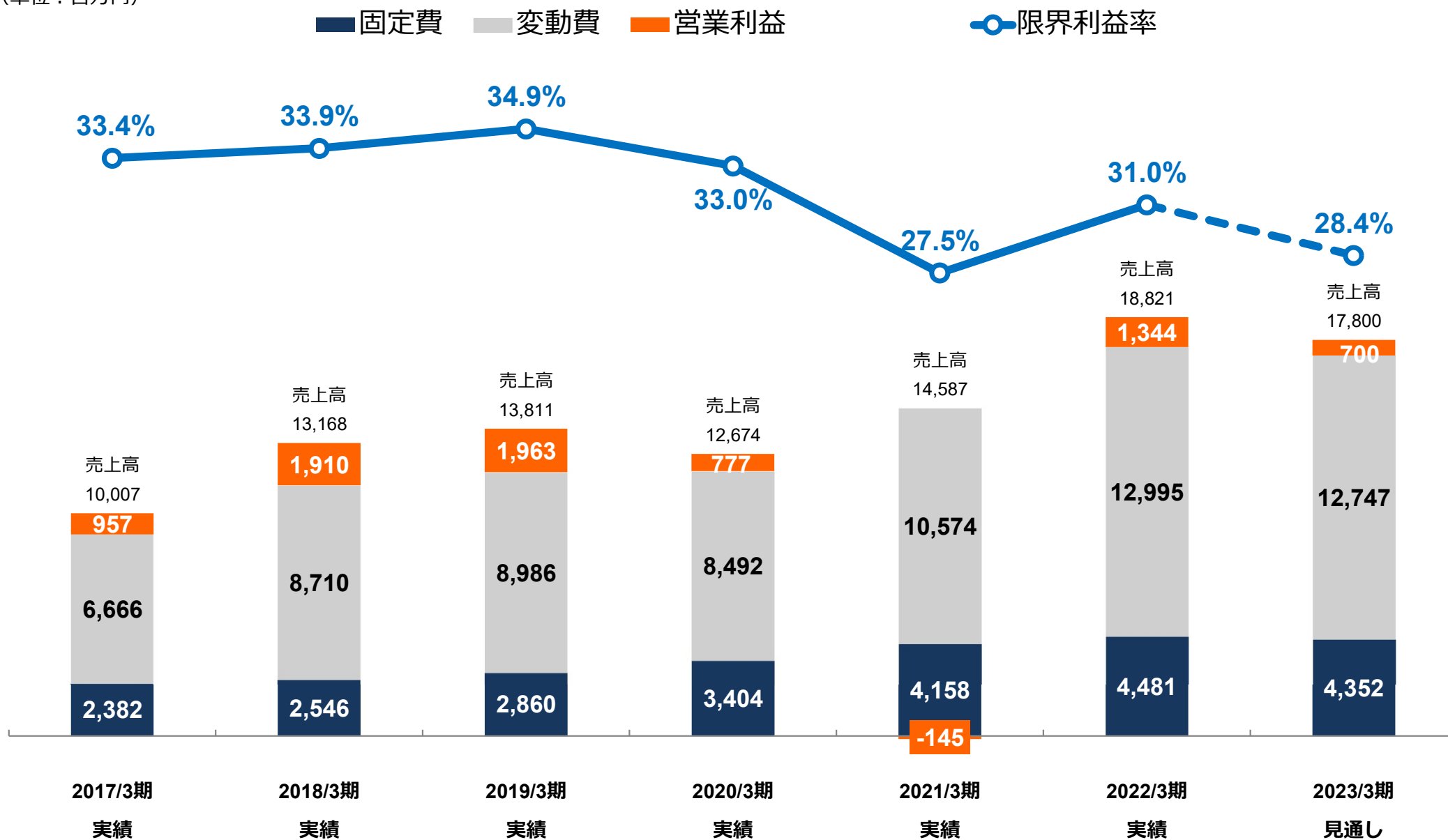


# 為替マリーの状況 (2022/4-6)

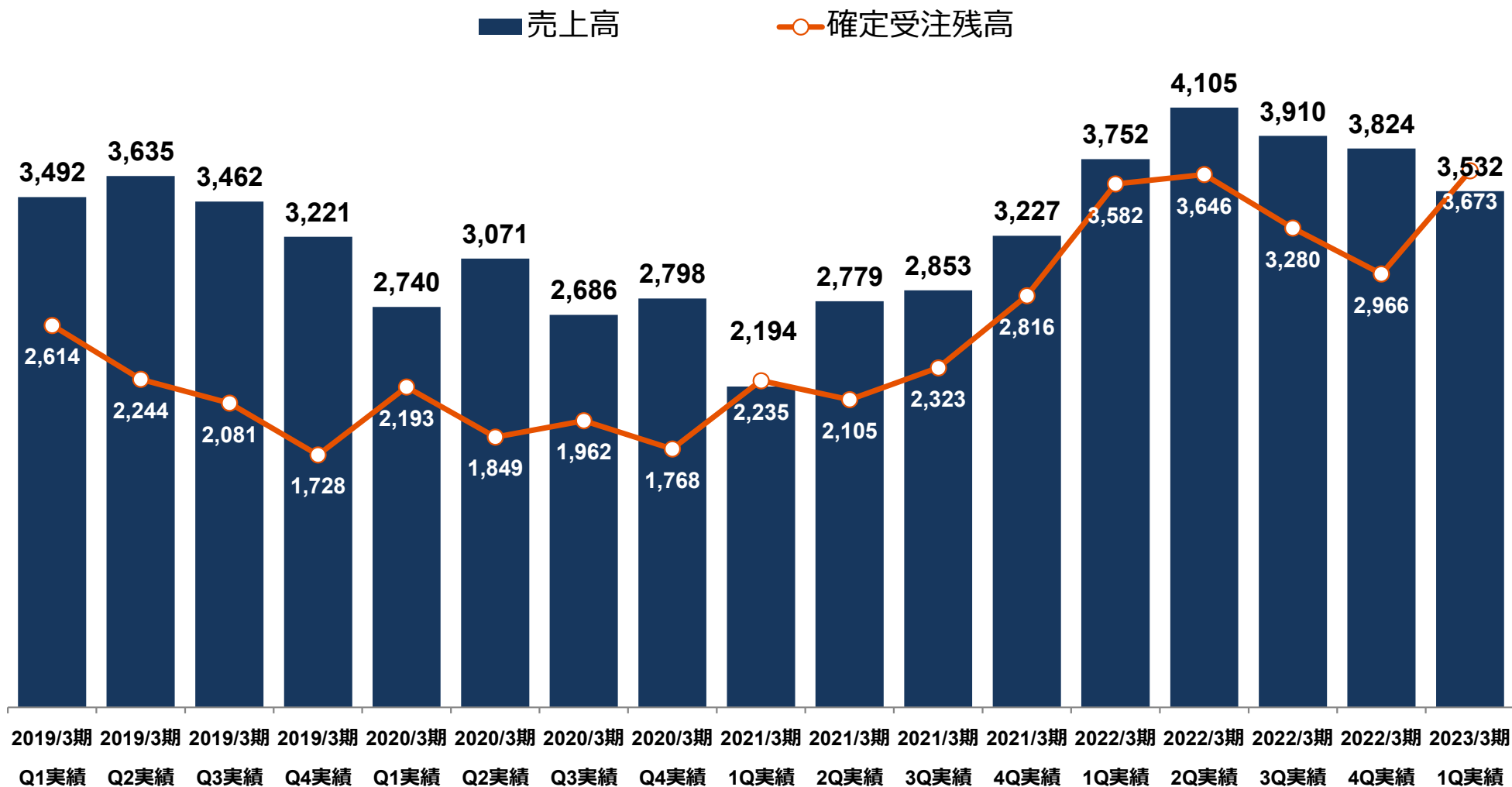
(単位：百万)

Currency	Incoming		Outgoing		Net	期中 平均レート (JPY)	円高ケース(10%)			円安ケース(10%)		
	各通貨	構成比	各通貨	構成比	各通貨		期中平均 レート △10%(JPY)	レート差額	影響額 (YTD)	期中平均 レート +10%(JPY)	レート 差額	影響額 (YTD)
JPY	¥4,900.0	67%	¥5,100.0	61%	△¥200.0	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$15.2	27%	\$19.1	30%	△\$3.9	¥129.6	¥116.62	△¥12.96	¥50.54	¥142.54	¥12.96	△¥50.54
EUR	€ 2.0	4%	€ 1.4	2%	€ 0.6	¥138.1	¥124.31	△¥13.8	△¥8.29	¥151.93	¥13.81	¥8.29
PHP	PP0.0	0%	PP166.0	5%	△PP166.0	¥2.5	¥2.21	△¥0.2	¥40.84	¥2.71	¥0.25	△¥40.84
THB	฿33.50	2%	฿7.80	0%	฿25.70	¥3.8	¥3.39	△¥0.4	△¥9.69	¥4.15	¥0.38	¥9.69
VND	฿0.00	0%	฿202.60	1%	△฿202.60	¥0.6	¥0.50	△¥0.1	¥11.35	¥0.62	¥0.06	△¥11.35
Total	-	100%	-	100%	-	-	-	-	¥84.75	-	-	△¥84.75

(単位：百万円)



(単位：百万円)



The Specialist in Filtration  
**YAMASHIN** 



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております  
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL 045-680-1680

E-mail [ir@yamashin-filter.co.jp](mailto:ir@yamashin-filter.co.jp)